

Anthony Gallo AW1 取扱説明書

この度は、Anthony Gallo AW1 (アクティブサブウーファー)をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。

本製品は、可能な限り小型サイズでありながら、ハイレベルなサブウーファーのパフォーマンスを保つように設計されました。まるで正反対の目標ですが、AW1はコンパクトな筐体サイズで、リニアな周波数特性と強力なパワーを兼ね備えています。例えそれが大きな部屋であったとしても、本品が家具の下に設置されていても、ご満足いただける十分なパワーを備えています。同時に、シアターシステムに求められる爆発音等の再生力はもちろん、ピュアオーディオ再生にも優れた高品質のサブウーファーです。

目標達成のために、本製品の設計者である Anthony Gallo は、本品のウーファーとアンプをあえて別筐体としています。25cm のカスタムメイドのウーファーは、直径 27.5cm、高さ 18cm の円筒型の筐体に納められており、全ての制御、クロスオーバーエレクトロニクスと 150ワットの AB 級アンプは、もう 1 つの同様サイズの筐体に納められています。

このため、アンプモジュールをウーファーの上、もしくは残りのオーディオ/ビデオシステムコンポーネントの近くに設置するなど、柔軟性に富んだ配置がお選びいただけます。

調節について

以下の調節つまみは本品の背面に位置します。次ページの図も一緒にご参照下さい。

1-LEVEL:

主スピーカーに関連してサブウーファー音量の調節が可能。右回りにノブを回すとサブウーファーレベルが高く、左回りに回すと低くなります。

2-クロスオーバー周波数:

サブウーファーが再生できる高域限界周波数(Hz)を選ぶことで、多種多様のステレオスピーカーに合わせることが可能です。

注: Micro Satellite シリーズと一緒にご使用の際は、クロスオーバーは 120Hz に設定される事を推奨します。

3-LINE IN/LINE OUT(入力/出力):

RCA ピンケーブルを使用する時に、プリアンプ又は AV アンプを本品と繋げるためのもの。一般的に多いのはこの接続方法です。

4-電源:

3 ポジションあるトグルスイッチで、ON(右端)/OFF(左端)を切り替えます。中央位置の AUTO に合わせておけば、音楽信号を感知すると自動的に起動し、無音時には自動で電源が切れます。

5-フェーズ:

通常(0度)又は反回転(180度)させることで、サブウーファーの再生位相を選べます。

6-HI LEVEL IN/HI LEVEL OUT:

スピーカーケーブルを使用して、本品をプリアンプなどに接続するためのもの。ラインレベル出力が無い場合、もしくは(低音成分がステレオスピーカーをダメージするのを防ぐ為に)「HIGH PASS」フィルターが必要な場合に利用されます。

7-AC 電源ソケット:

AC 電源(100V)をアンプモジュールに供給します

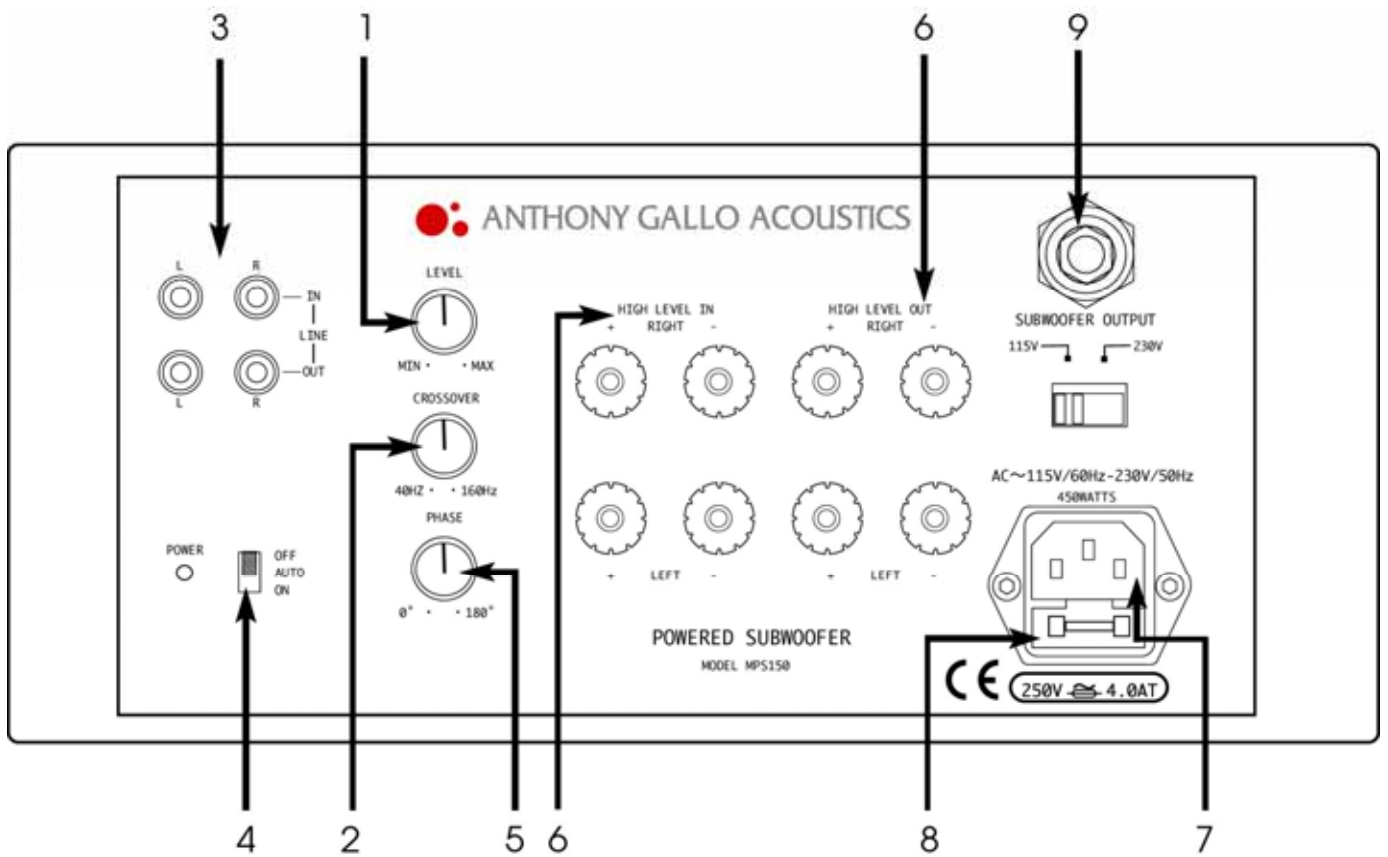
8-ヒューズ:

電源に異常があった場合に本品を保護するためのもの

9-1/4 インチフォノジャック:

付属ケーブルを使い、アンプモジュールをウーファーモジュールに接続する為に使います

アンプ背面図



最終調整

本品が適切に接続され設置されたら、アンプモジュールのつまみを調節する事により、更に最適なパフォーマンスがお楽しみいただけます。調整には、男性の低い声が収録されたものを使用するほうが良いでしょう。

まず、音量レベルの調節から開始します。つまみを右回りに回し、他の周波数帯域より低音出力がはっきりと大きくなるまで、サブウーファーの音量又はレベルを上げます。更に、低音と残りのオーディオ周波数のバランスが良くなり、サウンドがサブウーファーから直接出ていることがわからなくなるくらいまでレベルつまみを左回りに回し、低音出力を下げます。調整時の判断はリスニングポジションで行って下さい。

次に、クロスオーバー周波数は正確に設定しなければなりません。アンプモジュールのクロスオーバー周波数つまみを使って、本品を再生する最大周波数を決定します。クロスオーバー周波数のつまみをそれぞれ左右に回し、交差点を増減させます。クロスオーバー周波数の設定が高すぎると、男性ボーカルの低音が大きすぎてしまいます。低すぎると、同じボーカルが今度はか細くなってしまいます。声音が自然に聴こえるポイントを探して下さい。

Micro Satellite スピーカーをお使いの場合は、クロスオーバー周波数 120Hz が理想的です。

注意：低音は無指向性です。低音には、左右のチャンネルステレオ情報は含まれていませんので、設定したサブウーファーをサウンドの個々のソースとして設置するのは不可能です。

しかし、クロスオーバー周波数を高くして(約 100Hz)お使いの場合には、指向性のある情報を再生する事があります。これが極めて目立つようであれば、サブをステレオスピーカーに近づけて、サブウーファーとスピーカーの調和を取るとよいでしょう。

最後に、「PHASE」スイッチを考慮しなければなりません。スイッチの位置を0度と180度の両方で試してみましよう。正しい設定とは、サブウーファーとスピーカーとの深い低音、又は最も「均一な」調和を意味します。フェーズが正しく設定できた後は、必要に応じて、LEVEL とクロスオーバー周波数つまみを再調整して「最終チューニング」を行います。

これらのサンプルインストラクションに従い、設置と調整を試すことで、より素晴らしいパフォーマンスがお楽しみいただけます。マニュアルをよくお読み下さい。

接続方法について

ご購入いただいた本品をよりよくご試聴いただくためにも、以下をよくお読みください。

ラインレベル接続：（ピンケーブルによる接続）AV アンプとの接続方法

ホームシアターユースのほとんどの場合、ラインレベル入力を使います。AV アンプの背面出力端子に「LFE」出力又は「サブウーファー」出力があり、通常は RCA ピンケーブルを使い、AV アンプのこの出力と本品の「LINE IN」端子を繋ぎます。本品の左右どちらの「LINE IN」端子に接続しても構いません。

ステレオプリアンプとの接続方法

原則的に、プリアンプから本機へ信号を出力するにはプリ出力端子を使います。出力端子から、本品のコントロールパネル上の「LINE IN」端子に RCA ピンケーブルを接続して下さい。プリアンプの出力端子が一系統しかない場合などは、「LINE OUT」端子からパワーアンプ等に接続する事が出来ます。

注意： 本製品の「LINE IN/OUT」端子には、クロスオーバー又はハイパスフィルターは含まれていません。Micro Satellite や、低音に限界のあるラウドスピーカー等を使ったシステムをお使いの場合は、お手持ちの Micro Satellite が低音の限界に達して損傷する事を防がなくてはなりません。Micro Satellite 又は他の小型スピーカーに繋がられている回線に対し、サラウンドプロセッサ又は AV アンプのメニューから、スピーカーサイズ「Small」を選択して下さい。アンプにそのような設定が無い場合には、下記の「ハイレベル接続方法」をご参照下さい。

ハイレベル接続方法：（スピーカーケーブルによる接続）

ハイレベル入力は、ラインレベル(サブウーファー)出力端子等がないプリメインアンプ等のシステムの場合に使用します。ハイレベル接続時、メインスピーカー入力はハイパスフィルターにより、低音がメインスピーカーをダメージするのを防ぎます。

通常 2ch ステレオをお使いの場合、ハイレベル接続を選択して下さい。

AW1 を Micro Satellite 又は他の小型スピーカーと組み合わせる場合

プリメインアンプのスピーカー出力より、スピーカーケーブルにて、AW1 の「HIGH LEVEL IN」に左右それぞれに入力します。さらに、AW1 の「HIGH LEVEL OUT」より、お使いのメインスピーカーの入力へスピーカーケーブルにて接続します。

AW1 をフルレンジスピーカーとしてご利用の場合

低音成分をメインスピーカーから出力されたい場合、お手持ちのアンプ又は AV アンプの出力端

子にスピーカーケーブルをフロント、AW1 の 2 セット分接続して下さい。1 つ目のセットを AW1 の「HI LEVEL IN」端子に、2 つ目のセットを直接メインスピーカーに繋げて下さい。こうすれば、AW1 の「High Pass」クロスオーバーを回避する事が出来ます。

AW1 のアンプモジュールとサブウーファーモジュールの接続方法:

1/4 インチフォノ・プラグで終端処理されている AW1 に付属されるケーブルを用い、プラグをエレクトロニクスとサブウーファーモジュールの端子に接続します。

AW1 の設置方法:

小型な円筒型をしているので、本体を簡単に隠す事が出来ますし、家具の下に収める事も可能です。最高の低音再生のためにも、以下のことをご確認下さい。

1. 設置場所によって低音出力が左右されます

本品を壁の近く(例: 壁と床の角等)に設置すると、フリースペースに設置した時よりも、出力が 2 倍(+3db)になります。コーナー設置(部屋の角等)の場合は、出力は更に倍(+6db)になります。大きい、又は音響上吸音性の高い部屋では、壁の近く又はコーナーに設置した方が、低音の増加につながるかもしれません。

2. ウーファーデザイン

本品は、ウーファーとフロア間の限られたスペースを活かして低音を出力することが可能な「ユニットの下向き配置」、デザインとなっています。スペースがあまり広くないので、音の妨げとなる物をウーファーと床の間に設置しないようにして下さい。

3. 設置方法により音質は変化します

試聴スペースの位置によって、サブウーファーの音質は著しく変わるかもしれません。どのサブにも、最適な設置場所があります。お好みの場所が見付かるまで、設置場所を変えてみて下さい。

AW1 の主な仕様

仕様は予告なく変更されることがあります。2005年7月現在

サイズ:	275cmφ
高さ:	120mm(アンプ部)・180mm(ウーファー部)
重量:	14kg
能率:	89dB
インピーダンス:	4Ω
再生周波数:	24Hz ~ 160Hz
最大出力:	240W
クロスオーバー:	40Hz ~ 160Hz 可変
使用ユニット:	254mm ウーファー
付属品:	ラインケーブル(5m)
カラー:	ブラック
調節機能:	音量調節(組み合わせるメインスピーカーとの音量合わせ)

位相調整(ウーファー及びメインスピーカーの位置で位相が微妙に異なるのを、0 ~ 180°の範囲を無段階で調節可能)

入力信号を感知して電源のオート on/off が可能。

Gallo 製品の制限付き保証について**-保証について-**

ご購入日から、2年間にわたり製品の無料保証、またその後3年間パーツ無償にての修理(修理代のみ頂戴いたします)を販売店を通じて保証致します(サブウーファー内蔵アンプ等のエレクトロニクス製品は2年保証)。お買い上げ日の入った領収証と保証書を大切に保管下さい。詳しくは保証書をご覧ください。

以下の場合には保証の対象にはなりません。

- 1) ご使用上の誤り、お買上げ後の輸送、移動、落下などによる損傷、自然災害などによる損傷
- 2) シリアル番号が変更されている、もしくは無い場合
- 3) 取扱説明書、保証書に記載されている範囲外の操作が行われた場合
- 4) 不当な修理や改造を行った場合

All other warranties, express, implied or statutory, including but not limited to warranties of merchantability or fitness, and all other obligations or liabilities of Anthony Gallo Acoustics are limited in time to the period of warranty granted hereby.

輸入総代理店
(有)フューレンコーディネート
0120-004884